

学校保健

THE SCHOOL HEALTH No.179

(財)日本学校保健会

生涯にわたる
健康な生活をめざして
—自から進んで健康な
ライフスタイルを
確立するこどもの育成—

第39回全国学校保健研究大会の主題

食生活と健康

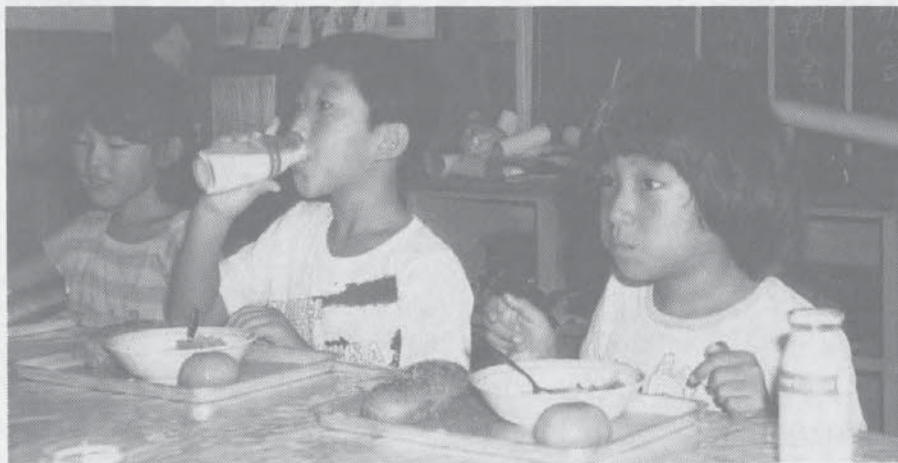


文部省体育局体育官 猪股俊二

「泥棒だ」と叫ぶ家人の声で台所に来たその家の主人は、泥棒が手をつけた食膳のありさまをみて、「金も少し盗られているようだがよほど困っていたのだろう。心配いらないから警察には届けないでよい」と言って奥に入ったようだ。

終戦後食べ物のことで妹達と言い争いし、始終ガツガツしていた私に亡き母が論じた話の一つである。泥棒の話には後日談が続くのだが、箸一つの使い方ですらどうしてその人のことが全て分かるのか半信半疑であったが、五十路半ばにして母の言葉の意味が少し分かってきたように思う。食文化は人間形成と深くかかわりながら、人間生存の多様性を創り出してきた。食生活は食文化の基盤であるが、現在の日本では見せかけの豊かさの中で、食生活は貧困になってはいないだろうか。とくに、心の健康が問題になっているが、食生活の貧困と無縁ではないように思われる。

栄養学、栄養生理学はじめ、食に関連する科学領域から健康増進へアプローチすることは重要であるが食文化のもつ健康とのかかわりについて再考してみる必要があるのではないだろうか。



—楽しい給食 東京都港区立桜小学校

目次

| | |
|------------------------------|---------|
| 食生活と健康 | |
| | 猪股 俊二…1 |
| 児童・生徒の食生活の実態 | |
| | 川戸喜美枝…2 |
| 子どもの食生活の問題点 | |
| | 鷹鷲 テル…4 |
| Q & A 骨粗しょう症対策 | |
| | 廣田 憲二…5 |
| 北から南から 学校給食と家庭・地域との 連携 | |
| | 武井 恒夫…6 |

児童・生徒の食生活の実態

— 気にかゝる食事と健康 —

文部省体育局学校健康教育課学校給食調査官 川 戸 喜美枝

はじめに

「うちの子どもはカップラーメンが大好きなものですから」と言い、子ども達の嗜好を考慮しながら大切に育てている、というようにインスタントラーメンを箱ごと買い求め喜々としてスーパーから出て行く母親の姿をよく見かける。子どもの食事を「好きだから」を優先して良いのか、よりよい成長をし、生涯を通して健康な生活を送るために、私どもは今健康教育を担当する一員として、子ども達の食事の問題をどのように取り上げて解決の方法を見いだしたらよいだろうか。子ども達を取りまく多くの人びとにも、食事と健康に関する理解を求めながら、どのような場面において何をどう活用して指導するのか。子どもを、豊かな心とたくましいからだに育てること等を考慮して、実行しなければならない。

「食べる」という言葉の裏には、多種多様な意味が含まれており、奥行きを感ずる。食事は生活の一部であり、体の一部でもある。一方、社交や人間関係も食事によって充実する例が多い。このように食事は、毎日の生活に重要な位置を占めていることも確かである。学校給食は子ども達の一日の生活の中で重要な役割を果たしており、食教育の場面で期待されている。

学校給食 100 周年にあたって

明治22年に山形県鶴岡市で始まった学校給食は、「学業奨励や飢餓の救済」を目的とした中で、最も古く組織的に行われたので「学校給食発祥の地」とされ、記念碑もある。

発祥地とされた忠愛小学校は、各宗派の僧侶たちによる私立小学校としてこの年に発足し、学用品や弁当が給与され、50名の児童は、米飯による弁当で副食は野菜、魚などを用務員さんが調理をしていたそうである。

現在の学校給食は、食料が不足した昭和21年からであり、昭和29年に学校給食法等の制定によって大きく発展してきた。

本年は学校給食100周年にあたり、学校給食全国大会では学校給食の変遷と将来への期待を願って、鶴

岡市で10月20日に、千葉市の幕張メッセでは11月24日から27日まで、それぞれに記念行事を開催することになった。この機会に多くの方に参加していただき、学校給食についての理解を深めていただきたい。

朝食ぬきや偏食の子どもについて

4校時が終了して、給食を食べる前にお腹が痛いと言って座り込んでしまう子どもがいた。良く聞いてみると、朝食を食べずに登校したと言うのである。夕食は何時だったのか、その間に何も食べなかったのだろうか？ 家庭では父母の責任において子どもの食事、衛生活動等をとらえて指導にあたってほしいものである。

例えば、前夜22時に夕食、または夜食を食べ、朝食を食べずに登校したとすれば、給食まで14時間も胃の中へ食事が入らずにいることになる。そうなれば、体が変調をきたすのは当然である。血液中の血糖値が下がるなど、集中力に欠けたり、授業を受けるに十分な体力や能力を発揮することができなくなる。

育ちざかりの子ども達の食事は一日、いや一食とて大変重要である。三食ともにきちんとバランスよく食べるように大人自身が心してかからなければならない。

生まれてから幼児期までの間、親が、子どもについて目的意識をもち、一貫した態度でしつけないために偏食児が生まれるケースが多い。小さい時のしつけが、一生影響することを考えて、子どもを育てなければならない。偏食は、心の教育と深い関係があることを忘れてはならない。

国民栄養調査からみた子どもの栄養

国民栄養調査は毎年実施されているが、その内容については、一世帯当りの平均として報告されており、特に学齢期についてとり上げて実施されているものではない。したがって、児童生徒の食生活の実態の把握が困難である。

しかし、日本人の栄養摂取は5～10年を単位として変化している。その内容は、主食量の減少が、日本人の栄養摂取の面で大きく影響を及ぼしている。

炭水化物のエネルギーの割合が、50%を割っていることは、すべての資料からうかがえる。それに反して、たん白質や脂肪の割合が多くなっている。

脂肪については30%をこえて35%以上にも上昇することがある。これは食事の形態などの差にもよるが、学校給食を担当している栄養職員はこの問題を大きくとり上げて、献立作成時に、25~30%の範囲に脂肪の摂取を心がけている。たん白質についてもエネルギー比が、16~18%を目的としても、外食が多くなるにつれて18%を越える場合が多くみられる。

また、カルシウムについても、不足しがちな栄養素である。現在では、成長期である学童について必要とされるばかりでなく、老人なども、健康維持の一つとして食事のカルシウムの必要性がいわれている。この他に、思春期における鉄分の摂取や繊維素の問題として野菜類の摂取も叫ばれている。

日本人が今まで長い間食べながら生活の中で作り上げてきた日本型の食事、郷土食の見直しをすることによって、日本人の栄養摂取の実態を反省し、21世紀に向ってよりよい食事のとり方を作り上げて行くことが大切である。そこで今、学校給食の中で郷

土食をとり入れ、子ども達とともに、日本人のこれからの食事を作りあげようとしている。これも大きな意味での食文化といえよう。

こどもの生活と食事によりよい成長を

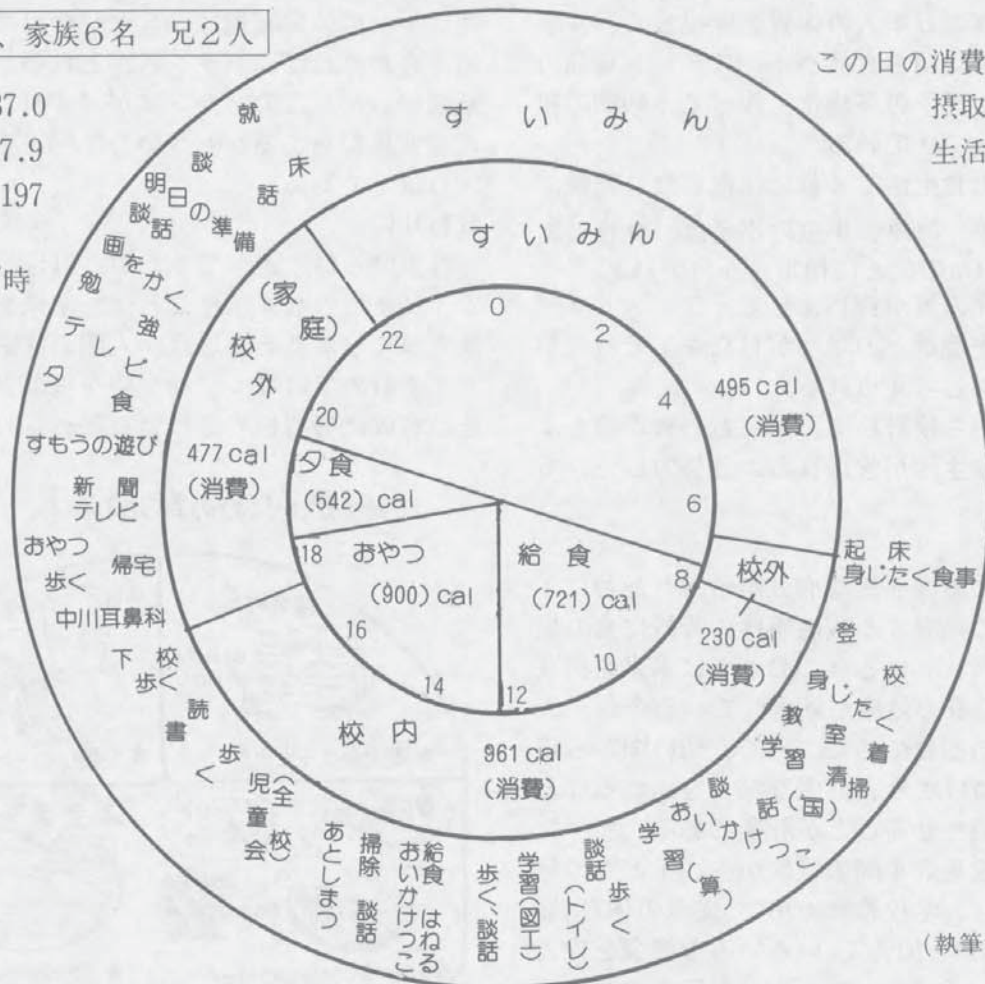
子ども達の生活が大きく変化していることは事実である。その大きな現象は、活動量の低下である。私の考える子ども像は、汗を流すことによって成長し活動することによって食事の美味しさを知ることなのである。子どもとは、友達と競い合って運動し、食べることによって生きるための意欲を養う。活動すること、食べること、勉強すること、寝ることなど、全部の行動に対して全力を傾けて成し遂げるのが子ども達の生活だと思う。そのことが昔と今とどう違うのだろうか。やはり今の子ども達は少ない。どうしたら多くなるだろうか？ 個々に応じた生活のし方についてもう一度見直して指導方法を試みたいと考えている。それが、いま私達がやろうとしている健康教育なのではなかろうか。健康教育においてはストレスを解消するための方法を考える前に、もう少し積極的な教育も同時に考えながら進めなければならないと考えている。

(資料：5年生男児の一日の生活の実態)

事例 5年男、家族6名 兄2人

体重 37.0
身長 137.9
体表面積 1.197
基礎代謝 57.1cal/時

この日の消費カロリー 2163
摂取カロリー 3100
生活々動指数 0.52



(執筆者の調査による)

子どもの食生活の問題点

岩手大学教育学部名誉教授 鷹 觜 テ ル

はじめに

肥満、高血圧、高脂血症等成人病危険因子を抱える子どもの急増、4人に1人にのぼるといふ実態が、医学者や栄養学者によって発表されている。

また、日大の小児科教授大國氏は、今の子どもたちが大人になる30年後には、成人病の急増のため、平均寿命が短くなることが予想されるので、子どもの時期に正しい食生活を身につけさせるべきだと提唱している。

子どもの食生活の問題点

私はこうした成人病の若年化の誘因を知るために、昔、脳卒中の少ない地域で、現在、若者が急増している地域をえらび、その食生活変化の様相を観察した。

昔、この地方は、雑穀、豆類、いも類や野菜を豊富にとり、それに川魚を配して、バランスのとれた食生活が営まれていた。ところが、現在の食生活の動向をみると、真の日本人の体質を無視して、食事が欧風化し、さらに精白食品やインスタント食品の増加、嗜好飲料や菓子の多様化に伴って、砂糖の摂取の増加が目立ってきている。

一方、昔からの食生活で多量に摂取した、雑穀、根菜類、緑葉野菜、海草、小魚の不足は、食物繊維やビタミンA、C、Caの欠乏に拍車をかけている。

農村にも都市化の波が押しよせて、ファストフード店や、自動販売機などの増加が目立ち、それらからの影響も大きいと考えられる。

あらゆる角度から検討して、子どもの食環境をまもり、理想的な食生活が営まれるよう努力したいものである。

食育の重要性

現代、飽食による様々な病気が子どもたちにふえており、さらに頻発する残虐事件の背景に食の崩壊があるとも言われている。このように未来を担う子どもたちの、心身の健康が蝕まれている今日、人間生活の土台である食生活について、幼い頃から正しい知識を身につけさせ、健康な毎日を送れることの大切さを、認識させることが肝要である。

私は附属小学校長3年間の経験から、子どもの健康問題を重要視し、学校教育の中で、従来の体育・知育・徳育の他に食育を加えて、いろいろな機会を捉えて教育を試みた。子どもたちも自分が何を食べれば、

体も心も健康で過せるか真剣であった。食物に対する嗜好や認識は、幼少時の体験で決まるとも言われている。

その教育は、乳幼児期から始め、家庭の食卓を通して、生命の大切さ、その生命は食生活が根源であることを、年齢相応の内容で説いてきかせることが肝要である。そして小学校での食育に発展させる。中学校ではもう遅いと思う。食嗜好がまだ決まらないうちに教育したいものである。

その実践にあたっては、まず食べたいものと、食べなければならぬものを組み合わせて食べる食習慣を身につけさせたい。

私は孫を通して、こうした教育を2～3歳から試みたが、今は孫の好きなものに、何を組み合わせれば、バランスがとれるかを理解している。

私は孫たちに下図のような盛付けをして与え、主菜(例：ハンバーグ)のお友達は…、オムレツのお友達は…、肉のお友達は…、と孫の好きな主菜に何を組み合わせれば、バランスがとれるかを、食卓での話題にした。このバランスがくずれた時は、体にどんな変化がおこるかも説いた。図を参照していただければ幸である。

おわりに

以上いろいろ述べてきたが、21世紀を目の前にして、私たちのなすべきことは、未来を担う若人達の健康づくりにあると思う。人間の健康は一朝一夕にできるものではなく、幼少時からの食育を通して、その育成に努力してほしいと願うものである。

子供のための配膳工夫



Q & A - 学校保健活性化のための -

Q 将来高年齢社会に生きる子どもたちの骨粗鬆症対策について教えてください。

A..... 大阪大学医学部産婦科医長 広田 憲二

骨粗鬆症とは老人に多く（65歳以上の女性の半数がかかっていると考えられている）、老化とともに骨からカルシウムが溶け出て、骨の中に鬆(ス)が入ったようになる病気で、骨折が容易におこりやすくなる状態のことを言います。どうして骨粗鬆症になるのかといえますと ① 栄養(カルシウム) ② 運動 ③ ホルモン等の不足が、加齢と重なりおこってくると言われています。

骨粗鬆症と子供とはおよそ縁のないものと思われるでしょう。骨は生まれてから、成長期を通じて骨量がどんどん増えてゆきます。このピークが20~30歳代で、この後、減少し始めますが、女性なら更年期後に更に急激に骨量の減少がみられます。骨粗鬆症は残念ながら年をとってからでは、効果的な治療法がないのが現状です。それではどのようにして私達はこの病気を予防すればよいのでしょうか。若い時から、できるだけ骨を貯金して、骨の量を高く保っておくと、年をとって骨の減少が始まっても、容易に骨折がおこるほど骨量が減少しないという考えからです。

私達は女子学生（平均年齢20歳）の骨量を測定しました。すると、骨の量が十分高く保たれているはずの彼女達の5人のうち1人が既に骨量の低下がみられ、40~50歳代の骨量になっていました。そういえば、最近子供達の骨折が増えていることが問題となっています。骨量の減少が子供達の骨折を増やしているのかも知れません。女子学生の骨量低下の原因を探ってみますと ① 子供の頃に牛乳が嫌いで、ほとんど飲んでいなかった。② 中、高生時代にクラブ活動等で運動を余りしていない。③ 乳児期に人工乳のみで育った。④ 月経が不順である等の要因が浮び上がってきました。こういう因子をもっている人が必ず骨粗鬆症になるわけではないのですが、骨塩量が少なくなっている危険度が高いということです。骨量の低かった女子学生に牛乳・乳製品からカルシウムを多くとるようにし、通学時にバスの代わりに1駅間歩くとか、エスカレーター代わりに階段を使うというように変えてもらいました。半年後骨量を測定したところ、骨量がぐんと増えていました。中には、19.3パーセントも増えて、正常値にまでなった人もいました。中高年の人では薬を飲んででもこれほど改善されません。今、時代は「病気を治す」ということから「病気にならないようにライフスタイルを正す」時代へと移りつつあります。そのために、子供のころから毎日の食べ物からカルシウムを十分とり、体を動かすことにより、丈夫な骨を育てるようにしたいものです。

虎の門(2)

もっと固い物を食べよう

ハンバーグ、スパゲッティ、ポテトサラダ、プリン、パンなど、軟かい食べ物に囲まれて育つ現代っ子たちは、かむ力が弱くなり、あごの発達の悪い子、歯並びの悪い子が多くなりつつある。

給食や家庭の食事の見直しを提言している、神奈川歯科大学の齋藤滋教授が、学校給食のかむ調査をしたところ、かむ回数は男女平均689回で500回未満が32%、900回以上は25%だった。

いま、ハマグリ、潮汁、カワハギの干物、アユの塩焼、ノビル、クルミ、クリ、玄米のおこわ、など古代食を復元し、かむ回数を比較すると、約半という結果が出た。昭和10年頃の一般国民の食べ物だった、大豆のみそいため、たくあん、野菜のみそ汁、きんぴらごぼうなどのかむ回数と比較しても半分だった。このようにかむことのサボタージュは、かまなくても食べられる食品になれた結果、使わ

ない筋肉は細く弱くなるように、あごが小さく弱くなっている。

現代っ子たちの健康のためにも固いものを時間をかけてかむことをもっとすすめたい。何でも細かくして混ぜ合せてしまうような調理法でなく、素材の固さを保った歯ごたえのある食べ物を考えたいものである。

(編集委員 石川行男)

北から南から

学校給食と家庭・地域との連携

埼玉県鷲宮町立西中学校長 武井恒夫

本校生徒の通学区域は、従来の農村地域と新興住宅地および住宅公団地域から成っており、生徒の6割が新興住宅地よりの通学である。また、農村地域のほとんどがサラリーマン化し、両親共働きの家庭も多い。

大型店舗の進出等により、いつでも好きな時に好きな物が食べられる環境、調理時間の手間を省く食品がふえ、忙しい生活にはありがたいことだが、これらが栄養面や食事状況等に大きく影を落していることも事実である。

さらに塾通いによる生徒の食事時間のずれなど、家族全員でのまどいを兼ねた食事という形態もくずれつつある。

こうした状況の中で、栄養摂取、食事時間、心の触れ合い等の問題を学校給食を通して、家庭・地域の連携の中で真剣に考えていかなければならないのである。

主な事業

鷲宮町は、昭和60・61年度に日本体育・学校健康

センターから「学校給食における学校家庭連携推進地域事業」の委嘱を受けた。それを機に、本校でも地域に学校給食を少しでも理解してもらうため、また、地域で正しい食事について理解を深めてもらうため種々の会食会を実施してきた。

- ① 老人との会食会…毎年2回、校区に住むお年寄りを招待し生徒と共に給食を食べる。食事を通して福祉の心を広げることにも役立ったようである。
- ② 親子会食会…保護者へ学校給食の理解と率直な意見交換などの場ともなり好評である。
- ③ その他、PTA試食会・調理員との会食会等も実施してきた。

おわりに

学校給食の問題は、健康教育、さらに生涯教育につながっている。朝食抜き、偏食、むし歯、かむ力の低下など問題は沢山ある。

これらの問題に学校は家庭・地域と手を結び共に考え、改善していかなければならない。

小栗一好先生・堀内フミ先生に感謝状と記念品を贈呈

小栗・堀内両先生の本会に対する永年のご功績を讃え、去る9月8日(金)12時本会会議室において、村瀬会長から感謝状と記念品(銀製扇置物)が贈呈され、引き続いて昼食会が行われた。(和久井専務理事同席)

小栗先生と日本学校保健会

先生は、東京帝国大学医学部をご卒業以来、ひたすら国民の健康増進に尽力され今日におよんだ。

この間、昭和40年から本会常務理事、昭和50年に専務理事に選出された。

さらに文部省の補助金を受けて発足した、学校保健センター的事業の企画運営委員長に推されてからは、この事業の推進のため専心努力され、基盤を確立された。

センター的事業が、すでに76委員会、関係した委員743名、出版物53種10万冊に及ぶ大事業として発展している陰には、先生のひたむきなご努力があったことを忘れることはできない。

先生は昨年5月専務理事を、さらに本年3月、企画委員長を辞任されたので、本会でそのご功績に対し顧問をお願いしている。

情熱の人、堀内フミ先生

先生は明治36年6月26日のお生れで当年86歳になられる。先生が看護婦の免許状を手にしたのが大正14年。昭和4年東京市麴町区の学校衛生婦となり日比谷尋常小学校で学校保健活動に入る。昭和11年学校衛生婦職制促進連盟が結成され実行委員長となり各方面へ運動を展開。昭和16年看護訓導制定さる。

昭和24年養護教諭の免許取得し東京都中央区築地小学校に勤務し精力的に保健教育に取りくむ。そして昭和38年には東京都学校保健会養護教員研究会会長に就任。翌年に文部大臣表彰受賞。

昭和40年本会常任理事に就任、会報学校保健編集委員となり、平成元年3月まで本誌の編集に携わっておられた。

先生は養護教諭の立場から終始本会事業の推進に努力されるとともに、養護教諭の資質向上に情熱を燃やされていたが、昨年秋、勲五等瑞宝章を受章された。

全日本よい歯の学校表彰

第53回全国学校歯科保健研究大会は平成元年10月27・28日に『学校歯科保健の包括化—発達段階に即した歯科保健指導の展開と生活化をめざして—』をテーマに多数の参加者のもと、和歌山県和歌山市に於て盛大に開催された。

本研究大会に於て「第28回全日本よい歯の学校表彰」は全国より、おおむね各県一校ずつ71校が応募し、そのうち慎重審査の結果68校が「全日本よい歯の学校」の基準に達しているのを確認し表彰を決定、更に最優秀候補校を6校選定、最終審査を行い、6

校いづれも優劣つけ難く6校全てを「文部大臣賞」に決定し、文部大臣より賞状ならびにトロフィーが贈られた。

文部大臣賞は次の通りである。

| | |
|------|------------|
| 岩手県 | 二戸市立金田一小学校 |
| 千葉県 | 市川市立中国分小学校 |
| 埼玉県 | 浦和市立常盤小学校 |
| 和歌山県 | 打田町立田中小学校 |
| 愛媛県 | 松山市立久米小学校 |

(石川行男記)

日本学校保健会だより

●本会の出版図書は

学校保健活動のエネルギー

1. 昭和63年度の出版

日本学校保健会が、昭和63年度学校保健センターの事業の成果のうち、57の加盟団体に無料で配付した図書・印刷物は8種類36,845部になる。その主なものは、

- 心疾患児管理指導のしおり……………96,000部
(各公立小・中・高校にも2部宛配布)
 - 海外情報ニュース(N.16, 17)……………8,000部
 - 学校保健センター的事業報告書……………5,000冊
 - 中学校「歯の健康づくりのしおり」……42,500部
(各公立中学校にも2部宛配布)
 - 疲れている!? 最近の子ども……………6,000冊
 - 児童生徒の生活リズム委員会報告………6,500冊
 - 児童生徒健康手帳(試案)……………4,000冊
 - むし歯予防啓発推進事業事例集……………7,000冊
- また、62年度に本会を通じて有償頒布した図書は23種、11,946冊になる。その主なものは、
- 生き生きとした学校環境づくり……………3,463冊
 - 心ぞう手帳……………1,934冊

2. 会報「学校保健」

会報「学校保健」は、当時の日本学校衛生会が、昭和29年、日本学校保健会と改称したのを契機に、当時の拠出金の大部分を投入して発刊したが、本号で179号になる。

年5回、発行部数は1回50,000部年間では25万部を越えている。

これを全国の各加盟学校保健会に各小中高校1部

文部省体育局の人事異動

9月1日付けで、体育局体育官に猪股俊二氏(前千葉県立浦安南高等学校長—写真は巻頭に)が就任され、前体育局体育官吉田瑩一郎氏は8月31日付けで退任されました。(現在 日本体育大学教授)

宛配布分も含めて無料で配布している。

(なお特に希望する場合は有償で年間500円)

本会報の目ざすものは、我が国の児童生徒の健康の保持増進を図るため、学校保健の充実・推進、並びに、各加盟学校保健会相互の連絡・提携に役立てることである。

このため、全国や各ブロックの学校保健に関する研究大会、学校保健協議大会、学校保健センター的の事業その他、学校保健に関係のある情報の提供もしている。

●会報編集委員会

平成元年度より本会報の編集委員をつぎの各氏が担当しています。(◎は委員長)

| | |
|-------|---------------|
| 石井宗一 | 元日本学校保健会事務局長 |
| 石川行男 | 日本学校歯科医会監事 |
| ◎杉浦稔 | 東京都医師会理事 |
| 杉下順一郎 | 東京都学校薬剤師会理事 |
| 竹田鎧 | 横浜市学校保健会理事 |
| 壺井忠雄 | 上福岡市立第四小学校教諭 |
| 富川佑子 | 町田市立大蔵小学校養護教諭 |
| 福原保子 | 前小学校養護教諭 |
| 松本國夫 | 目黒区立第一中学校校長 |

育ちざかりのひと粒!



ゼリー状ドロップ剤

歯・骨を丈夫に……

カワイイ肝油ドロップ



河合製薬株式会社 東京都中野区新井2丁目51-8

発行 財日本学校保健会 村瀬 敏郎 〒105 東京都港区虎ノ門2-3-13 第18森ビル 電話(50) 37850968 振替口座 東京 4-98761 預金1部100円(送料共)



学童の集団検診にお選びください。



尿中白血球反応をプラスしたエームスの尿検査試験紙

エームス尿検査試験紙尿中pH・ブドウ糖・蛋白質・潜血検査用
ヘマコンビスティックス

マイルス・三共株式会社

東京都中央区銀座1丁目9番7号 〒104 ☎(03)567-5511

エームス尿検査試験紙尿中pH・比重・pH・蛋白質・尿酸・潜血・白血球検査用

ネフロスティックス-L

販売元:

三共株式会社

東京都中央区銀座2丁目7番12号 〒104 ☎(03)562-0411

JU14885

目の健康と視力 その管理と指導

財日本学校保健会 編 ★A5・160頁・定価876円<〒260>
目のしくみや働き、近視予防等について、正しい知識と適切な指導・管理が行えるよう、平易に解説した。

貧血と脳貧血 その予防と指導

財日本学校保健会 編 ★A5・208頁・定価1,009円<〒260>
貧血の症状や調べ方、治療について、専門的、医学的に解説。学校での指導や予防等についても詳しくふれた。

健康障害児の運動指導

財日本学校保健会 編 ★A5・182頁・定価1,339円<〒260>
従来、取り残されていた健康に障害をもつ児童生徒の運動指導について、人間形成という視点から、より積極的な指導と管理ができるよう専門医学者の衆知を集めて解説した。

※表示の定価は消費税込み価格です。



第一法規 〒107 東京都港区南青山2-11-17
☎(03)404-2251/FAX(03)479-1747

子供の歯を考えた

ライオンの2段植毛ハブラシ

●低学年用 ●高学年用

●推薦 日本学校保健会

ライオンのハブラシ製品
ライオン株式会社

“ふだんの予防で、元気な毎日”まず手洗い!!

殺菌 消毒用 シボネット石鹼液 ユム

日本学校保健会推せん No.632

精製ヤシ油を原料にした殺菌、消毒用石鹼液で、手洗いのあといや～な臭い
が残りませんので喜んでお使いいただけます。シボネット容器に入れ、水で
7～10倍にうすめてお使いください。

サラヤ株式会社 TEL (06)797-2525

東京サラヤ株式会社 TEL (03)769-3131

〈本会報は、拠出金と、本会への(財)日本船舶振興会助成金により作成しました〉